

一般質問通告書一覧

令和4年度新城市女性議会

令和5年1月25日

新城市

令和4年度新城市女性議会一般質問通告者順序表

令和5年1月25日（水）午前10時～

1 二橋 英莉 議員（通告時間20分）

・子育て情報咲くらの充実について

2 中野 恭子 議員（通告時間20分）

・地域共生社会の実現に向けた、重層的支援体制整備事業などの各種取り組みについて

3 守屋 伸子 議員（通告時間20分）

・人と人との繋がりについて

4 木野田 星良（通告時間20分）

・新城市の知名度UPについて

女性議会一般質問通告書

氏名 二橋 英莉

テーマ	子育て情報ナビ咲くらの充実について
現状・課題 提案事項	<p>私は3年程前に新城市に嫁いできて、双子の男の子を育てています。双子の子が生まれた時はちょうどコロナが流行しだした時でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1歳児教室などのさまざまな行事が中止になりました。</p> <p>私は慣れない環境での初めての育児に戸惑うことが多くありました。また、日中子育て支援センターに行って相談しようと思っても、一人で双子を連れて行くことは難しく、家で悩むことが多かったです。そんなときにお家で気軽に市の支援について調べたり、相談できる環境があれば、悩みが軽くなるのではないかと考えました。</p>
質 問	<p>新城市には子育て情報ナビ咲くらという情報サイトがあります。年齢別やケース別で支援事業や相談窓口などを調べることができ、いつも利用させていただいています。ただ使うにあたってこんなことがあると良いなと思うこともあるのでこの場を借りて伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>(1) 新城市家事育児支援事業は支援を受ける保護者によって利用上限時間が異なります。私は双子の親だったので子どもたちが2歳になる前日まで上限100時間利用することができましたが、この制度をみつけることができませんでした。このように多胎児ということで対象の子の年齢や支援を受ける内容が変わることがあると思いますので、年齢別のところに多胎児ページをつくってもらえないでしょうか。</p> <p>(2) 市役所に行き、相談し、申請書を書き、書類が不足していたら再度出直したりと、一人で小さな子どもを連れて行うにはとても大変なことです。少しでも市役所の滞在時間を短くするために、子育て情報ナビ咲くらのホームページに申請書類と申請に必要な物を掲載していただけないでしょうか。</p> <p>(3) 子育て情報ナビ咲くらのホームページには子育て相談の窓口が種類別で掲載されています。この相談窓口にはっきり決まっている時もあれば、悩みが漠然としていたり、ただ少し話を聞いて欲しかったりする時もあります。既に富山市が24時間365日子育てに関する問い合わせに答える「子育て支援 AI チャットボット」を実施しています。子育て情報ナビ咲くらにもこのような相談窓口を作っていただけないでしょうか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 中野 恭子

テーマ	地域共生社会の実現に向けた、重層的支援体制整備事業などの各種取り組みについて
現状・課題 提案事項	<p>私は現在、市内の障害福祉サービスに従事する傍ら大学でソーシャルワークを学んでいます。これら活動の中で、地域生活課題について「どこの誰にどうやって相談して良いのか分からない」と言う声を非常に多く耳にします。実際、私自身も福祉を学ぶまで知りませんでした。このように、自身の生活のしにくさ、生きづらさ、自分では気付いていない課題や課題のもととなる出来事に対する周囲の気づきなど、相談できずに制度の目からこぼれ落ちて福祉につながりにくい人が多くいるように感じます。</p> <p>そこで質問をさせていただきます。</p>
質 問	<p>(1) 現在、新城市では一人暮らしのお年寄り、障がいを持つ方やその家族、ひきこもりで社会から孤立している方、子育てのしづらさや不安を感じている方、経済的に苦しんでいる方などの「暮らしの困り感、生きづらさなどの地域生活課題」にどのように取り組まれていますか？住民はどこに相談すれば良いのでしょうか？それはいつでも、誰でも簡単にできますか？</p> <p>(2) 地域生活課題を相談するにあたり、例えば「おじいちゃんが認知症で在宅介護を必要とし、お父さんが失業し生活も苦しく、子供が重度心身障害だけど医療的ケアを必要とするためショートステイ先が見つからず、ケアラーが精神的に追い詰められてしまう」などの、近年多く見られる複雑化・複合化した課題に対して、体制整備はされているのでしょうか？整備されているのならば、誰がどのように取り組まれているのでしょうか？</p> <p>(3) 次に、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして社会福祉法第106条の4にある、重層的支援体制整備事業についてお伺いします。市町村は、地域生活課題の解決に資する包括的な支援体制を整備するため(中略)、重層的支援体制整備事業を行うことができますとあります。蒲郡市、豊橋市、豊川市と近隣の市町村では取り組みが既に始まっています。新城市は取り組まれる予定はありますか？既に取り組まれているのならば、内容や進捗など現状を教えてください。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 守屋 伸子

テーマ	人と人との繋がりについて
現状・課題 提案事項	<p>私は作手地域に在住で、子どもが3人います。一番下の子供が小学生ですが、普段作手で生活をしていて思うことが2つあります。</p> <p>(1) 作手地域のママコミュニティ</p> <p>以前はフルで仕事をしていたため、家にいることが少なく、地域の人と関わる機会が少なかったのですが、今は短時間の勤務で、家にいる時間が多いため、子どもの友達のママとの交流が必然的に増えました。ママ友との交流の中で、素敵な考えを持っているママや才能に満ち溢れているママが作手地域にはたくさんいることに気づきました。それと同時に、ここに住むママ達の考えを届ける場や機会がないことにも気づきました。</p> <p>(2) 作手診療所</p> <p>昨年、小学生の息子の足の病気が発覚しました。作手診療所に来ている名古屋大学の先生に診察してもらい、その後大きな病院に紹介していただきました。迅速な対応のおかげで早期治療ができ、今息子は元気に生活しています。作手地域には病院が作手診療所しかありません。作手診療所で対応できない病気になった時に、次につながる医療体制があることが必要だと痛感しました。</p>
質問	<p>(1) 子どもの通学のための交通機関、習い事、買い物等ママ達が不安に思っていること、悩んでいることはたくさんあります。不安や悩みが少しでも軽減できる場が必要です。作手地域のママ達が意見や考えを気軽に話せる機会や場を一緒に作っていただけませんか。</p> <p>(2) 作手診療所から大きな病院へ迅速につないでくださいました。今の状況を今後も維持していただけませんか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 木野田 星良

テーマ	新城市の知名度 UP について
現状・課題 提案事項	<p>現在私は、33 歳で 18 歳から名古屋や東京に出て、昨年新城に戻ってきて住んでいます。どこに住んでも必ず出身地の話になりますが、新城市と言うと、東京はもちろんの事、名古屋であっても『何処それ!』と言われてしまう事を以前から残念に思っていました。</p> <p>新城市は温泉もあり、春は桜、夏はキャンプや BBQ、秋は紅葉と季節ごとに楽しめる場所もあるのに、知らない人が多いのは県外の方への発信力が足りないからだと考えます。</p> <p>名古屋からも近く、遊ぶ場所が沢山ある事をもっと沢山の方に知って頂くことで、新城の活性に繋がると思います。また、市民の方の仕事や住みやすい街づくりに繋がるのではないのでしょうか？</p>
質 問	<p>(1) 今や個人が発信力を持つ時代です。行政からの発信よりも口コミなどの個人の影響力の方が強いと考えます。新城市の発信をする SNS の塾のような物を作り、地域の方たちで新城市のいい所を発信するのはいかがでしょうか？入塾された方たちは、個人の発信力が得られるので、今後それが仕事に繋がったり、夢を叶える手助けになると思います。</p> <p>(2) 新城市の知名度を上げるために行っている取り組みがあれば是非教えてください。</p>